

7がつうまれのおともだち
おたんじょうび おめでとうございます



7月というのは1月のお正月に並んで、日本で多くの願い事がされる月です。幼稚園にも子どもたちの願い事がたくさん集まっています。「〇〇になりたい」と将来の願いを書く子もいれば、「〇〇が欲しい」とおねだりをしている子も。しかしどれもこれも共通しているのは「自分のための願い」であるということです。「当たり前だろ」と思う人もいるかもしれませんが、聖書の中には誰かのために祈る姿がたくさん出てくるのです。これを「執り成しの祈り」と言います。イエス様もまた、私たち一人一人のために、今も祈っていて下さるのです。自分の為だけでなく、誰かの幸せのために祈ることができる人は幸いです。神様もその人のことを喜び、格別に祝福してく下さるでしょう。そのような愛の心が子どもたちの内に豊かに宿りますように。

★7月生まれのお友だちのお誕生会を7月14日(水)を予定しています。

今年度も園児のみでお誕生のお祝いを致します。

★これからも神様に守られて健やかに 心も体も大きくなりますようにお祈りしています。

子どもたちの「甘える時」③

甘えさせてあげるために最も大切な要素は、「一対一」を心がけることです。大人でも、彼女が彼氏に、彼氏が彼女に甘えるとき、たくさんの人の前では甘えることができないでしょう。それは子どもも同じです。

下の子がいるときに、上の子は遠慮して心置きなく甘えることができません。ですから、上の子とお母さんが一対一になる時間を探しましょう。そんなに難しいことはありません。

お風呂に一人ずつと入って「みましよう」。

スーパーへ買い物に行くときに、一人だけを連れて行きましょう。習いごとの送り迎えを、お母さんが一人で見ましよう。

できるときだけ、少しずつで良いのです。

無理やり長い時間を作る「努力」をするのではなく、短い時間を見つける「工夫」をしましょう。

“一対一お風呂”はスキンシップの時間も併せ持っていることで、最も満足感が高いですよ。

お母さんと“一対一”のとき、子どもの顔の輝き、子どもの話の鼻が格段に違ってくるのが分かります。

引用 「たがのわ 多賀先生のあったか子育てアドバイス」 心力舎

多賀千之

多賀千之・安藤梢 編著